

山行番 NO. 1747
日時 2017. 7. 28 (金) 曇り時々晴れ
山域 乗鞍岳 (3026m)
コース 長泉5:00-諏訪湖SA-松本IC-乗鞍高原-三本滝-肩の小屋口9:00-肩の小屋10:00-乗鞍岳剣ヶ峰-肩の小屋-肩の小屋口12:30-三本滝13:00~14:00-中尾温「焼乃湯」15:00
標高差 上り=畳平2615m~乗鞍岳3026m=約411m
下り= "
参加者 GT (L)、KH、HT、HA、GM、KY、MM、MT=8名

秋もすばらしいようです

今年は、梅雨明け後の天気がすっきりせず、今日も曇りの中出発した。松本ICを降りたあたりから小雨がふりはじめ、みんなのテンションも下がり気味。梓ダムを渡り上ってゆくと、KHが「青空が見える」と叫ぶ。仰げば、確かに青空が見えた。「今日は行ける」と思った。



乗鞍岳

国民宿舎前のバス停には、かなりの人が待っていたが、その先まで行けるとのことで、三本滝まで向かう。再び霧が出ていて、雨も降りそうである。

準備しているとタクシーの運転手さんが、バスと同じ料金で乗せてくれるとのことでお願いします。(2500-+150-)柳沢忠治運転手さん曰く、上は霧が晴れているとのことで、二台に分乗し、畳平に向かう。

ヤナギラン・クルマユリなどの花や冷泉の滝などガイドを聞きながら登っていくと途中から信じられないことに晴れてきて、乗鞍岳の姿が、美しく現れた。上は、花も見ごろとのこと。期待が持てた。

畳平に着くと、下の雪渓では、夏スキーヤーが登っていた。雨かと思っていたのに快晴で暑いくら

である。大丈夫そうなので、アイゼンなしで、雪溪を慎重に登る。



クルマユリ



シナノキンバイ

肩の小屋に着くと沢山の中学生（愛知県刈谷市400名）が登っている。大変だ！とりあえず、腹ごしらえをし、登り始める。あちこちに高山植物が花を咲かせ美しい。



イワツメクサ



ハクサンイチゲ

中学生を大勢抜かし、頂上下のコルに着くと、眼下に権現池が見え、雪解けの青い氷が不思議だ。頂上直下は、かなり大きな石がゴロゴロしており、風も出てきた。中学生の横を抜けなんとか頂上に登頂。残念ながら、雲がでており眺望は望めなかった。頂上神社には宮司が記念品を販売していた。毎日下から上って来るそうだ。



山頂は、中学生でいっぱいなので、すぐに下山することに。下りはじめると更に登ってくる人が増えてきて、たいへんな混雑である。

肩の小屋での昼食をあきらめ、タクシーに迎えの連絡をする。肩の小屋からは、登りも下りもない。ほとんどの人が、山頂バス停からの登山のようだ。雪渓に近づくとスキーヤーが見事な滑りを見せていた。



コマクサ



下部雪渓



ヤナギラン

肩の小屋口につくと丁度タクシー1台到着。ぴったりでした。

またいろいろお話しを聞きながら、三本滝へ。アルバムを見せて頂き、秋の紅葉の素晴らしい写真も頂く。秋もいいですね。

三本滝のベンチで昼食。GMシェフの手料理をいただきました。ごちそうさまです。

今夜の宿、中尾温泉焼の湯着。お風呂に入り、夕食を食べ、明日に備え早々に就寝しました。

